

## 第6回 日本栄養改善学会 東海支部会学術総会

「健康的な食生活に新たな息吹を求めて～食における実践と研究との調和～」

平成29年6月25日(日)、愛知県産業労働センターウインクあいちを会場に開催することができました。

愛知学泉大学が主幹校として準備にあたって参りました。この間、ご助言、ご支援いただいた栄養士会、関連企業・団体等の皆様には心から感謝申し上げます。

本学会では、日頃の「食の実践」を「研究」へと落とし込み、科学的エビデンスを身近なものとして捉え、「健康な食生活に新たな息吹を求めて～食における実践と研究との調和～」をテーマといたしました。

保健・医療・福祉・教育機関等の領域より165人の参加があり、一般演題は38演題、そのうち実践報告は7演題ありました。各セッションでは、活発なディスカッションが行われ学术交流を深める時間を共有することができました。また、特別講演は、あいち小児保健医療センター伊藤浩明氏に「食物アレルギーの最新治療～食べて治すことをめざして～」、市民公開講座は、フードビジネスコーディネーター小山浩子氏に「牛乳と和食のしあわせな出会い おいしい減塩”乳和食”」について講演をしていただきました。参加者より多くの質問があり、大変興味を持っていただき、食の実践に直結した講演が開催できました。

皆様のご協力を賜り、第6回日本栄養改善学会東海支部会学術総会を実施できたことに感謝申し上げます。ありがとうございました。

愛知学泉大学 家政学部長 安藤明美

